

「柏崎の橋」

34 山根橋（田島）

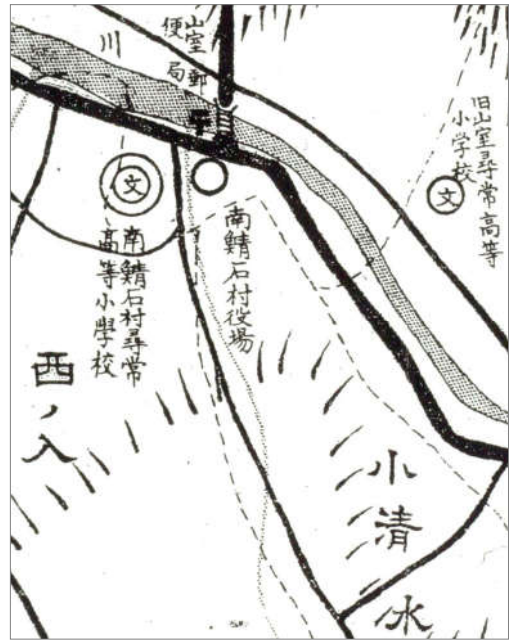
山根橋は、田島の南鯖石郵便局前の鯖石川に架かる、国道252号線上の橋である。古くは大正11年発行の『南鯖石村郷土誌』にその名前がみえるが、橋がいつ頃できたかなど、詳しいことはわからない。橋名の由来も定かではないが、山室村の山と石曾根村の根を組み合わせたと思われる。

かつての山根橋は高柳と柏崎を結ぶ道路上の橋ではなかった。国道252号線の前身である県道松代・柏崎線（岡野町線）は、開通した明治24年当時、山根橋の場所から高柳方面の道路は鯖石川の西側（小清水側）を通っていた。これは、平坦な東側に道路を通すと、田家が潰れ、都会の文化が流入して風紀が乱れるとして反対する人が多かったためである。しかし、西側の道は険しく通行が困難という理由で、大正7年～昭和9年の間に県道は東側に移され、山根橋が東西の道を繋いだ。こうして、岡野町安田間を行き来する荷馬車や乗合バスなどが橋を渡るようになった。



昭和28年1月の山根橋

中央に見えるのは岡野町に向かう雪上自動車「吹雪号」
(真貝新一氏寄贈写真より)



大正10年発行の『刈羽郡南鯖石村是』収録地図

山根橋以南の県道松代・柏崎線（太線）が鯖石川の西側（左側）を通っている。

鯖石川は、過去には毎年のように氾濫し、そのたびに川筋が変わったり橋が流されたりした。山根橋も傾いたり水没したりといった被害を受けている。昭和中頃、氾濫による被害を防ぐため、鯖石川堤防を高くする工事が行われると、それに合わせて山根橋も架け替えられ、昭和31年、木製の旧橋が鉄筋コンクリート造の永久橋に生まれ変わった。竣工時、柏崎日報紙上で「刈羽郡随一の優美な橋」と評された新山根橋は、半世紀以上経た現在も高柳・柏崎間の交通を支えている。

●参考にした本

南鯖石村郷土誌（224ミナ）南鯖石尋常高等小学校
山室村誌及村誌書上帳写（224ヤマ）山室村
高柳郷土誌（224タカ）高柳村教員協議会
高柳 わたしたちの町（224タカ）高柳町教員協議会
田島のくらし（382カネ）金子主計 編